

**凡事徹底**

**夢甲斐塾20周年記念事業**

**街頭清掃**

**×**

**知る街**



**夢甲斐塾**

ゴミがない街を作ろう！

街の美観維持に協力しながら汗を流し、街を知る。

県都甲府のディープスポットを  
巡りながら行うごみ拾い。

ごみを拾う社会から

ごみを捨てない社会への変化の分岐点は  
この事業からスタートします。

# 夢甲斐塾とは

2000年に山梨県のリーダー育成事業としてスタートしました。  
その後知事が変わるタイミングで自主運営として再スタートを切り、  
本年令和3年に20周年を迎えます。  
この間に412名の塾生が入塾し、学びを深めています。

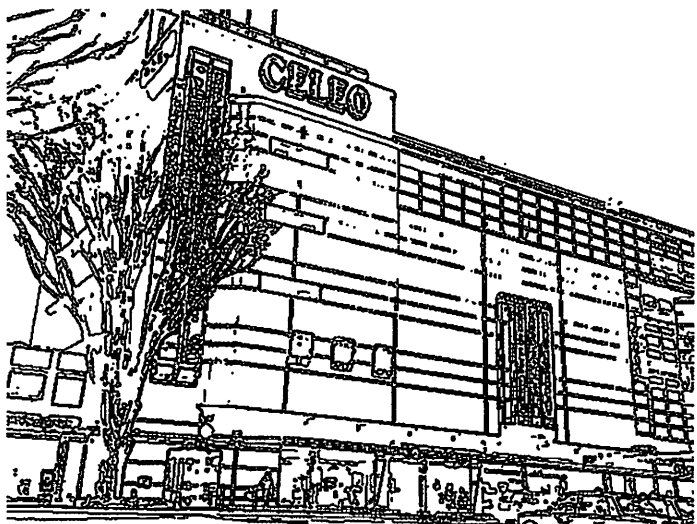
## 知る街ポイント一覧

1	セレオ甲府	丸の内1丁目
2	甲府病院	天神町11
3	清運寺	朝日5丁目
4	竹川菓子店	美咲1丁目
5	原山神社	美咲1丁目
6	藤村記念館	北口2丁目
7	よっちゃんばれ広場	北口2丁目
8	サドヤ	北口3丁目
9	甲府カトリック教会	中央2丁目
10	金手駅	城東1丁目
11	オリオン通り	丸の内1丁目
12	松林軒豊嶋家	中央1丁目
13	日本銀行甲府支店	中央1丁目
14	連雀問屋街	中央4丁目
15	三枝豆店	中央4丁目
16	朱宮神仏具店	中央4丁目
17	一蓮寺	太田町5
18	稲積神社	太田町10
19	甲府市遊亀公園附属動物園	太田町10
20	穴切大神社	宝2丁目

# セレオ甲府の「セレオ」は「セントラル・メイン・オウンビル」をもじった造語である。

甲府駅のショッピングモール「セレオ甲府」の意味をご存じでしょうか？運営しているのはJR東京西駅ビル開発株式会社。他に「セレオ八王子」「セレオ西八王子」「セレオ相模原」「セレオ国分寺」があり、中央線沿線を中心とした駅ビルの名称となっています。（相模原駅は横浜線）

セレオとは造語で、Central Line（中央線）と中央線のイメージカラーであるOrange（オレンジ）をくっつけてCELEOとつくります。

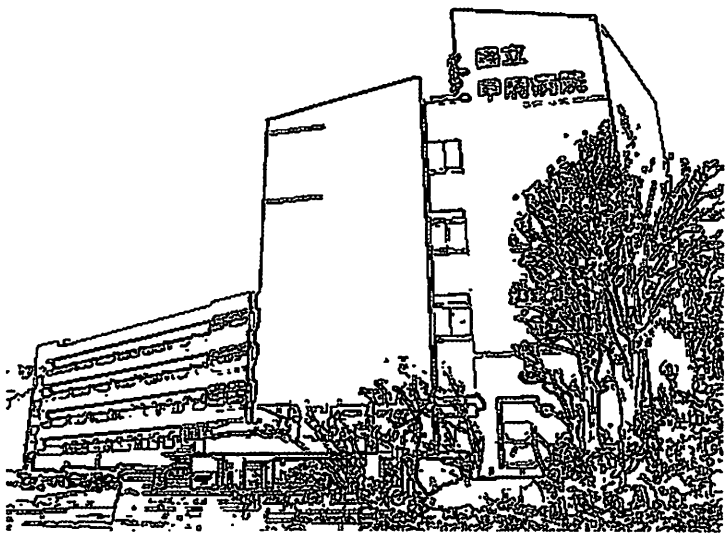


# 甲府病院のルーツは 陸軍病院だった。

甲府市天神町に「独立行政法人国立病院機構 甲府病院」がごぞいます。この病院はもともと陸軍の傷病兵を收容するために作られた「甲府衛戍病院<sup>えいじゅう</sup>」にまで遡ります。明治四十二年四月のことです。

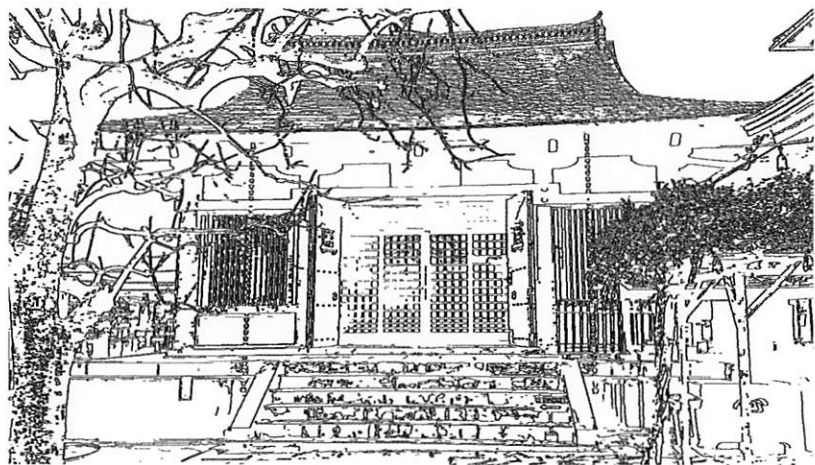
甲府で陸軍病院が開設されたのは、「陸軍歩兵第四十九連隊」が甲府で編成されたことによります。

明治三十八年に編成されたこの連隊のために敷地を提供したのは、甲州財閥の若尾家でした。この病院は終戦後、国立甲府病院となりました。



# 坂本龍馬の婚約者「千葉さな子」のお墓が甲府市にある。

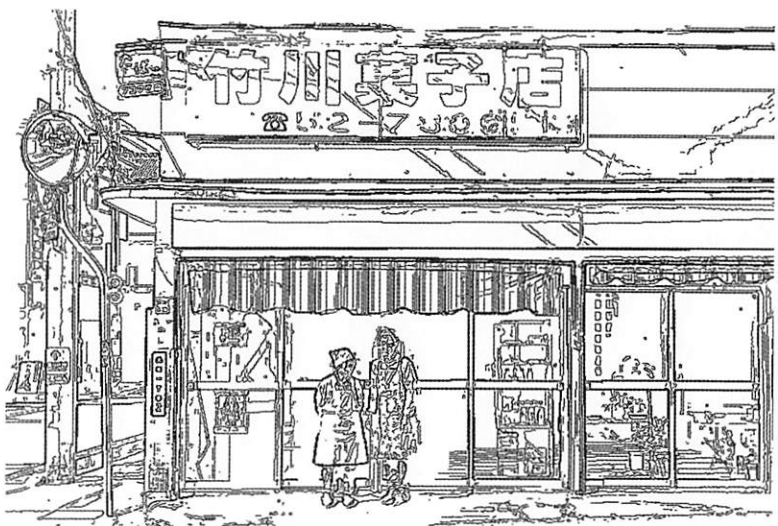
甲府市朝日の清運寺は、坂本龍馬の婚約者である千葉さな子のお墓があるお寺として知られています。彼女は龍馬と婚約したものの、彼は暗殺されてしまい、さな子は結婚前に未亡人となりました。晩年、さな子は千葉灸治院で生計を立てていました。この客に、小田切謙明という甲府の名士がいました。彼女は明治29年に東京の千住で亡くなり、谷中霊園に埋葬されました。しかし無縁仏になるのを憂いた小田切夫妻の計らいで、清運寺の小田切家の墓地に墓を作ったと考えられています。



# 竹川菓子店の「かすてら紅梅」はやみつきになる名菓。

山梨の特徴的なお菓子に「ソフト紅梅」がありますが、甲府市美咲の竹川菓子店の名物「かすてら紅梅」は別格です。

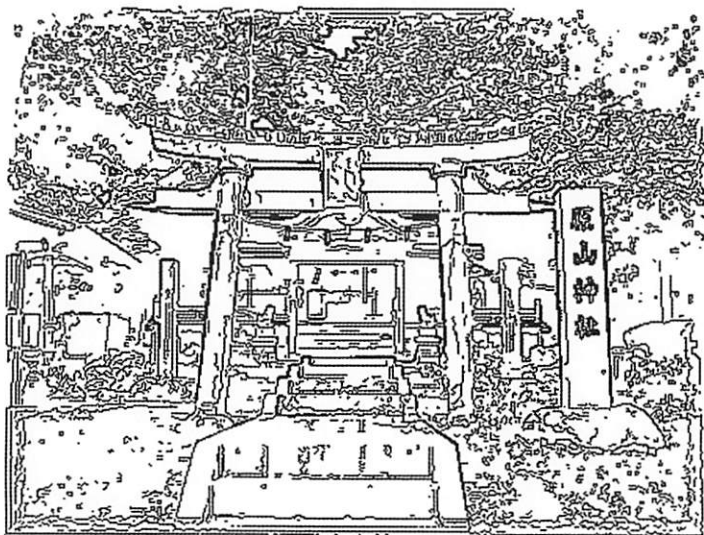
形は丸や四角、葉っぱ形など。「かすてら」というだけあって、たっぷり卵を使ったふんわりした仕上がり。外側は所々カリッと焼き上がっていて、これが食感のアクセントになっています。人形焼のようなふんわり感がクセになります。ここでしか買うことができない味わいです。 ※日曜定休



# うなぎをお祀りする 神社がある。

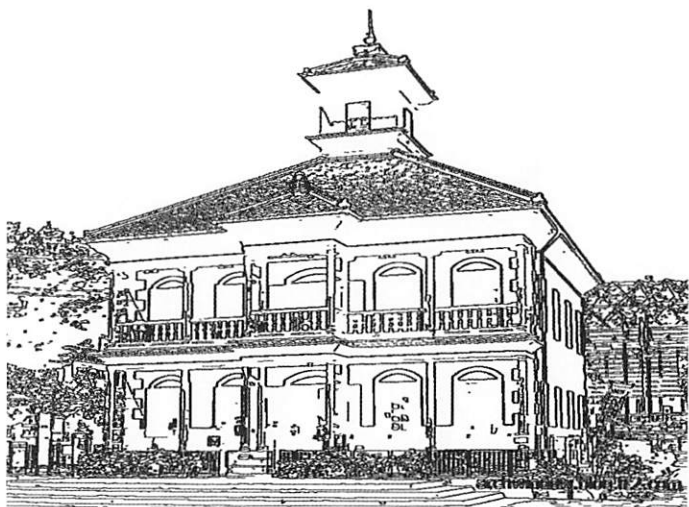
甲府市美咲には、うなぎをお祀りする神社がごぞいます。「うなぎ神社」とも呼ばれる原山神社は、由緒の中でうなぎが登場します。社殿には絵馬が奉納され、毎年8月にはうなぎを3匹放流する「神事も」。

同社の言い伝えでは、昔、相川の氾濫と疫病で困った村人が原山神社に祈願すると、うなぎを3匹放流せよとお告げがありました。実行すると、氾濫も疫病もおさまったのだそうです。



# 藤村記念館は 2度も生まれ変わった。

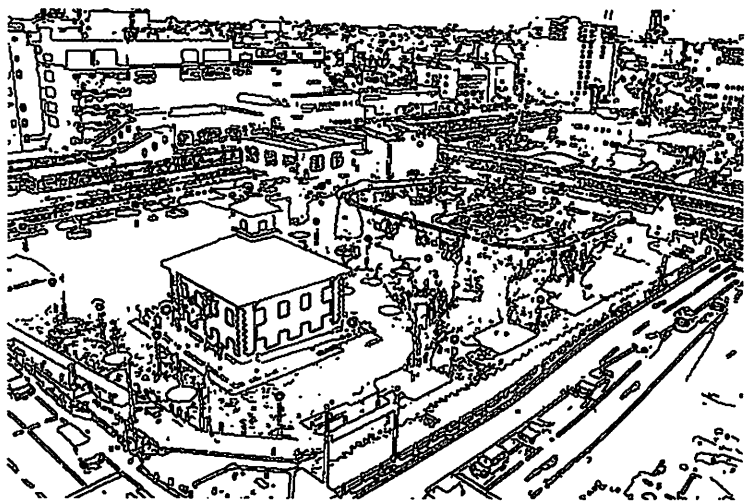
藤村記念館は、その昔、睦沢村亀沢に「睦沢学校」として建設されました。閉校後は公民館として利用されたものの、老朽化によって閉鎖。建物は解体撤去されましたが、有志による保存委員会が組織され、武田神社境内に記念館として復元されました。武田神社にあった記念館は、甲府駅北口への再移築のため、もう一度解体・修理されることになりました。藤村記念館は、学校としての誕生から2度も生まれ変わっているのです。同館は、国の重要文化財に指定されています。



# よっちゃやばれ広場10個分で 東京ドームおよそ1個分。

山梨県民がわざわざ東京ドームを持ち出して、「東京ドーム何個分」と説明するのは、なんだかまどろっこしい。東京ドームを何か山梨の別のものでも換算できないかと探してみると、よっちゃやばれ広場がちょうどよいことが分かりました。

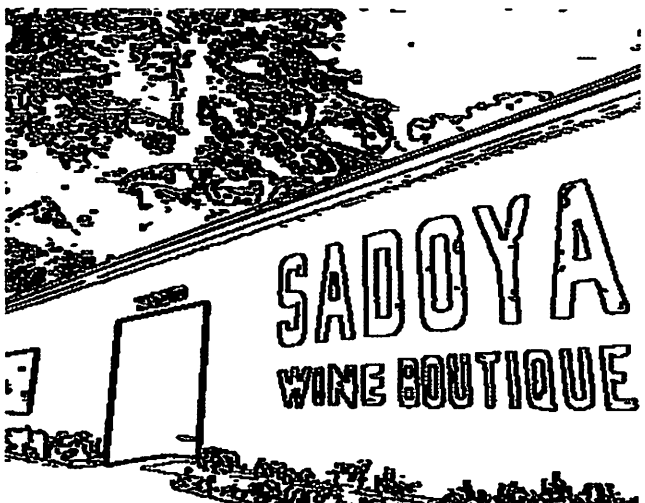
東京ドーム1個分の面積は46755平方メートル。よっちゃやばれ広場の面積は4827平方メートル。よって、よっちゃやばれ広場10個分が、ほぼ東京ドーム1個分ということになります。



# サドヤが語り継ぐ 「ワインは兵器」という歴史

ワイン自体が兵器になったわけではありませんが、ワイン作りの過程で生成される「酒石酸」を利用して作る「ロッシェル塩」という特殊な物質があります。これは潜水艦のソナー（水中聴音機）の部品として重宝されたのです。

山梨県でも屈指の老舗ワイナリーであるサドヤさんは、甲府空襲の爆撃によって大きな被害を受けました。厳しい戦争の時代を乗り越え、すでに創業100年以上の老舗ワイナリーとなっています。



# 甲府カトリック教会には お侍さんの聖像がある。

甲府カトリック教会に安置されている、お侍姿の聖像。古代ローマ時代の服装のイエス様やマリヤ様ら5体の聖像と並び、ちよんまげ・刀・着物という格好の日本人像が置かれているのです。

この大変珍しい聖像のモデルとなっている日本人の名は「トマス籠手田」。

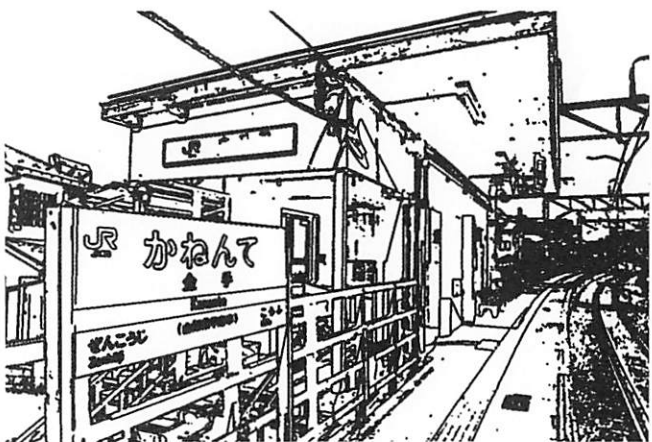
誰もが知る有名人というわけではありませんが、日本のキリスト教の歴史の中では、知る人ぞ知る重要人物の1人なのです。



# 「<sup>かねんて</sup>金手」の地名由来は 「<sup>かぎのて</sup>鍵手」というクランクカーブから。

JR身延線で甲府駅の隣駅にあたる「金手駅」。豊臣秀吉が全国統一を果たし、甲府城下町が形成された後、この周辺は「金手町」と呼ばれていました。現在でも甲府市中心部を走る国道411号は、国道なのに直角に曲がる急カーブが連続しています。これはかつての城下町の名残りです。

このクランクカーブのことを「鍵手」と呼び、「金手」はこの「鍵手」が訛って成立したものだと考えられています。

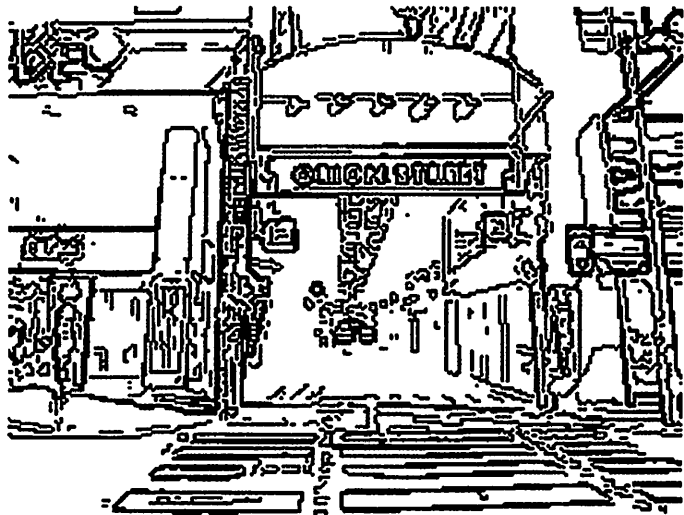


# 「オリオン通り」は 映画館の名前が由来。

甲府市中心街のオリオン通りの名前は映画館が由来です。かつて、この通りの一面に「オリオンパレス」という映画館があり、これがきっかけでオリオン通りと呼ばれるようになったといえます。

現在はオリオン通りを中心とした周辺の商店街も含めて「オリオンスクエア商店街」という名称が使われています。

郊外の大型ショッピングモールでは味わえない「商店街散策」の楽しみが、ここで味わえます。



# 「月の雫」の元祖は松林軒。 山梨の将来の発展を願い、 商標権を開放した。

「月の雫」とは、甲州ぶどうの粒を生そのままザラメの砂糖で包んだお菓子。山梨の代表的なお菓子のひとつです。もともとは老舗和菓子屋の松林軒しょうりんけんとよし里とよし家が商標を取得して販売していたのですが、四代目社長がある大きな決断をします。

なんと、「月の雫」を山梨の銘菓として育てたいと考え、商標権を開放してしまったのです。つまり、誰でも自由に「月の雫」の名で、あのスタイルのお菓子を製造販売することができるようなのです。





# 日本銀行の支店は 全都道府県にある わけではない。

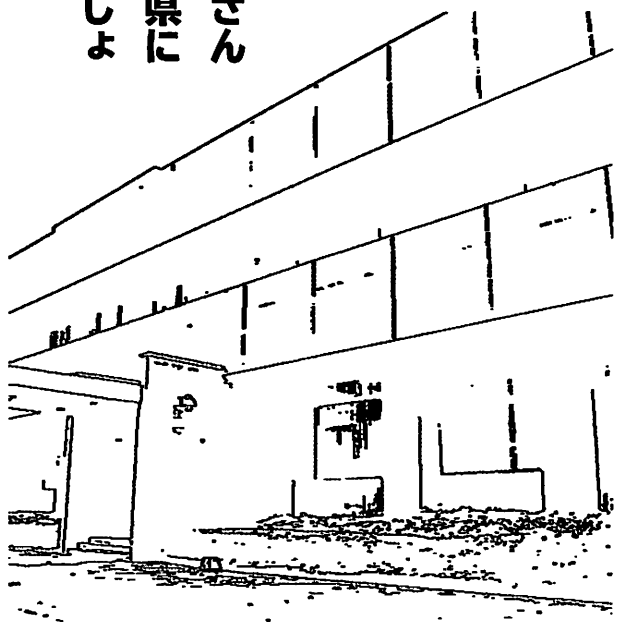
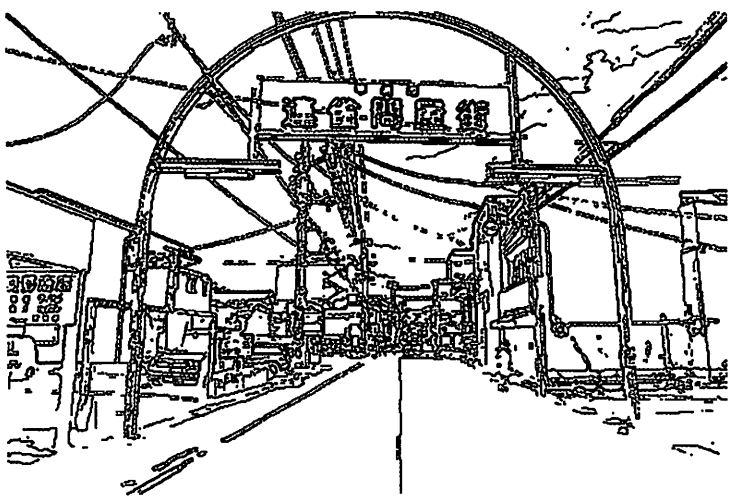
日本銀行に甲府支店があるということとは、皆さん「存じのこと」と思います。しかし、各都道府県に支店が1つあるわけではないことを「存じでしようか？」

支店が1つもない都道府県としては、岩手、山形、茨城、栃木、千葉、埼玉などが挙げられます。逆に不思議なのは、北海道には釧路、札幌、函館支店が3つもある点です。福岡県は福岡支店と北九州支店の2つの支店が存在します。

# 連雀商店街の「連雀」とは れんじやく 商人が担いだ背負子のこと。

昔ながらの間屋が集まる、甲府市の「連雀問屋街」。「連雀」とは木製の背負子のこととで、これに荷物をくくりつけて行商が行われました。「連雀商人」と呼ぶことがあります。単に「連雀」だけでも連雀商人・行商人を指したりします。

連雀問屋街は、連雀商人が集まっていたことが名前の由来。ちなみに、「連雀」という鳥がいます。両翼に各1本の長い羽があり、背負子しよいこを連想させたので「背負子＝連雀」となったと考えられます。



# 山梨の節分には欠かせない 100年以上の老舗 「三枝豆店」の豆

全国各地で節分祭が行われますが、山梨県内でも甲府市（大神宮節分祭）、上野原市（牛倉神社節分祭）、身延町（身延山節分会）、忍野村（忍野村節分祭）など、様々な場所で節分祭が行われます。

山梨県で豆といったら、明治36年創業の「三枝豆店」でしょう。県内ではテレビCMでおなじみの企業のひとつです。

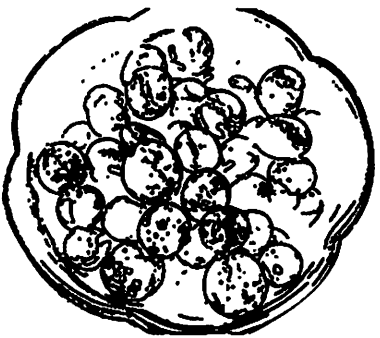
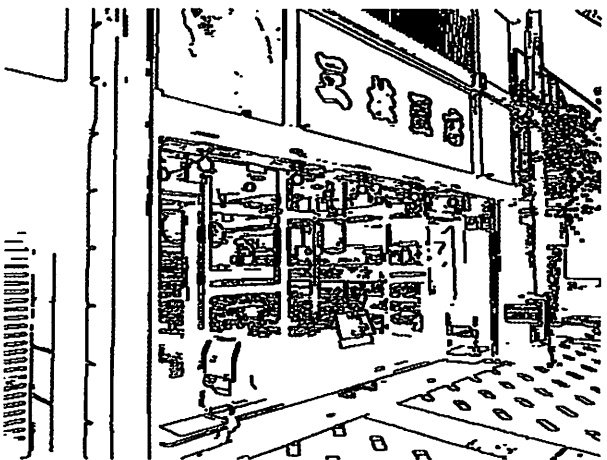
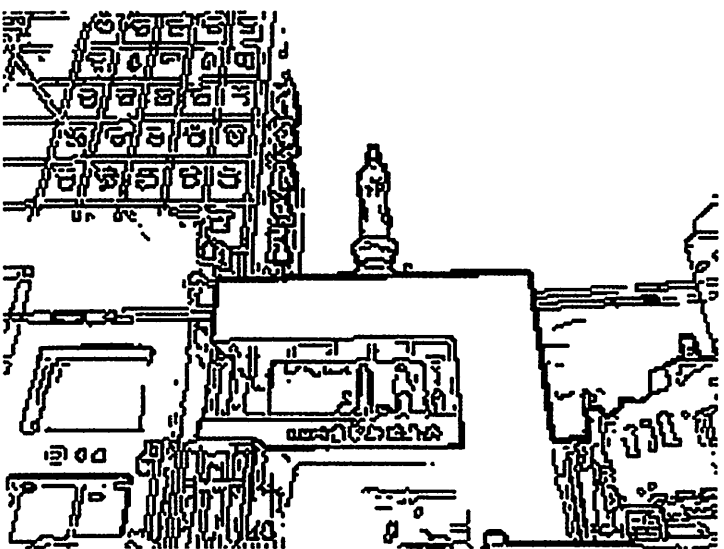
国内産100%、そして遺伝子組換えされていない良質な大豆にこだわって、丁寧に作り続けています。

# 朱宮仏具店のルーツは 飛鳥時代にまで遡る。

山梨県内でおなじみの「朱宮神仏具店」。このお店、実はとんでもなく長い歴史を持っています。そのルーツは、なんと飛鳥時代なのだそうです。

朱宮一族の祖先は飛鳥時代から神仏具を扱い続けており、1024年に京都で神仏具の製造を開始します。

甲府市で操業を始めたのは1880年。山梨の歴史だけ見ても、すでに130年以上にわたって営業を続けていることになりました。

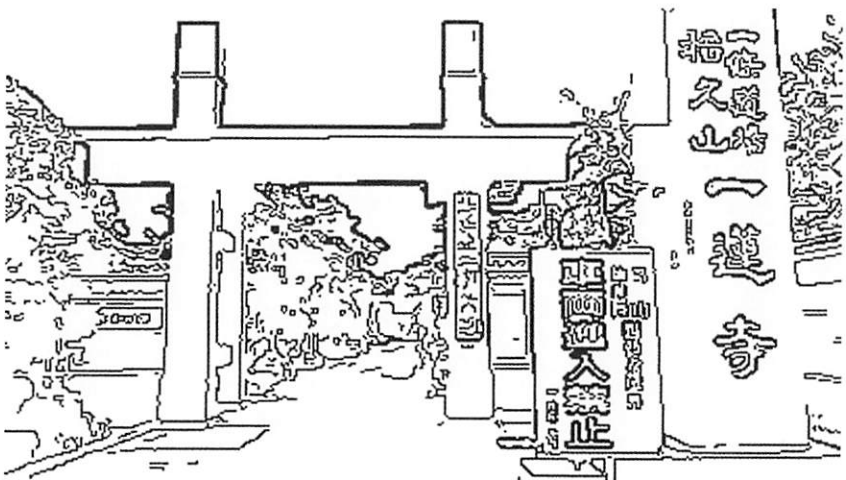


# 一蓮寺はもともとは

## 甲府城の場所にあった。

甲府市の一蓮寺は稲積神社の隣にありますから、ご存じの方も多いでしょう。この寺はかつて甲府城の場所にあります。ここは一条小山といいますが、

武田氏の治世の時、ここに砦を築くということになり、一蓮寺は一条小山の麓に移転しました。その後、甲府城築城のために現在地に移転することになります。甲府市や山梨県の歴史を語る上では外せない寺院でもあるのです。

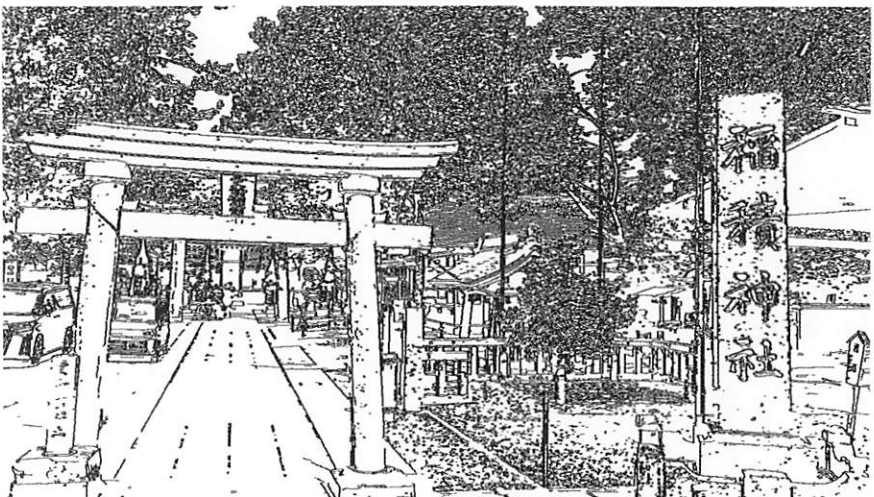


# 「しょうのきさん」とは 「正ノ木稲荷明神」 の祭りのこと

甲府市の稲積神社付近の「帯が」一帯に歩行者天国となる「正ノ木稲荷祭り」。地元では「しょうのきさん」と呼ばれています。

5月2日の前夜祭から5日の三之祭・成就祭まで、ゴールデンウィーク中ずっと開催される盛大なお祭りです。

稲積神社のご祭神を「正ノ木稲荷明神」と呼ぶことが祭名の由来です。「稲荷明神」とは「お稲荷さん」のこと。



# 甲府市遊亀公園附属動物園は 国内で4番目に歴史の長い動物園。

東京（上野）、京都、大阪（天王寺）に次いで国内  
4番目に開園した歴史ある動物園。

遊亀公園附属動物園は、草食動物の餌を栽培する直  
営農場を運営しています。その農場は、動物園の敷  
地からは少し離れた甲府市小曲町。驚くべきことに、  
職員の方々が、草食動物のための青草を栽培してい  
るのです。「職員自らが栽培・収穫・運搬すること  
で餌代が節約できる」という点もありますが、動物  
たちへの愛情が半端ではありません。



あなざり

## 穴切大神社は甲斐国の

## 「湖水伝説」ゆかりの神社である。

甲府市の穴切大神社のルーツであり、甲斐国の代表  
的な神話といえる「湖水伝説」。お地蔵様が2柱の  
神様に声をかけ、巨大な湖の水を全部抜いてしまっ  
た事業を成し遂げたというお話です。

その後、人々はこのお地蔵様を「国母稻積地蔵「こほいぬしむねぢざう」」と  
して、山に穴を開けた神様を「穴切大明神」として、  
さらに、山を蹴破った神様を「蹴裂大明神けさせ」として、  
国を開いてくださった尊い神仏としてお祀りしたの  
だそうです。

